真野小だより

児童数：４６９名
Ｎｏ．２２
令和４年３月１日発行

学校教育目標『あかるく　やさしく　たくましく』

土筆（つくし）と木筆（こぶし）

カミナリノヘソ、ゴトゴトコイシ、ジチャバチャ、スイスイトンボ、ドコドコサイタ、ホシノコ、ヘビノマクラ、フデグサ、フデノジク、ヘビノローソク、ボンサマアタマ・・・。

これは一体何の名前でしょうか。

正解は、ツクシ。土筆と書いてツクシ。ツクシには地方によってたくさんの呼び名があり、約３７０種類ものおもしろい名前があるそうです。形の奇妙なことに由来する名前や筆の形に似ていることからつけられた名前など様々です。

土筆（ツクシ）は蕗の薹（フキノトウ）とともに、いち早く大地に春を告げます。土筆は植物名ではなく、スギナの胞子茎を指す言葉です。スギナノコ、スギナノコムスメなどとも呼ばれます。細々と家庭菜園を楽しむ私にとってスギナは天敵なのですが。因みに、土筆の花言葉を調べてみると、「向上心」だそうです。子どもの頃、母方の田舎の親戚の家に行った時、ワラビやゼンマイなどと同じように、甘辛く煮たツクシを食べた記憶がうっすらと残っています。（あまり美味しいと感じた記憶はありませんが。）

土筆に対して木筆はコブシです。蕾が筆の穂、実が握り拳に似ています。柔らかい毛に包まれた筆の穂をたくさんつけた木筆の木は、真っ白な花を枝いっぱいにつけます。こちらも花言葉を調べてみると、「歓迎」「恩恵」だそうです。

いよいよ３月です。３月は１年の締めくくりです。６年生は卒業式までの日数を数えながら、小学校生活の最後を惜しみつつ、友との絆をさらに深め、小学校での学習のまとめを行います。５年生以下もそれぞれの学級･学年の１年間のまとめと振り返りを行います。３学期の始業式で全校児童に向けて話した、次のステージの０学期が間もなく終ろうとしています。そして担任は、子どもたちが新しい学年に進学･進級していく準備期間として、この１年間の子どもたちの成長と頑張りを一人ひとりに伝え、支援を行っていきます。

大地でも田んぼの畔や木の梢でも、「筆」の花が大空に向かって、早春を描く季節は間もなくです。進学・進級という大きな節目を迎える子どもたちは、どんな夢や希望を描くのか楽しみです。

新型コロナウィルス感染症の出現から３回目の春を迎えます。今年もコロナに振り回された１年間でした。しかし、保護者の皆様、地域の皆様、様々な形でのご協力、ご支援を賜りました。誠にありがとうございました。本校教職員を代表し、記して感謝申し上げます。今後も皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

ままへ。いきているといいね。おげんきですか。

愛海さん小学校卒業

津波犠牲「ままへ」手紙

4歳の時、東日本大震災の津波で両親と妹を失った昆愛海さん(12)(岩手県宮古市)が19日、小学校の卒業式を迎えた。「ままへ。いきてるといいね　おげんきですか」。8年前、行方が分からなくなった母に手紙を書いた「愛海ちゃん」は、来月から中学生になる。

15人の同級生とともに、小学校の体育館で卒業証書を受け取った愛海さんは、緊張した面持ち。舞台から下りると保護者席に向かい、一緒に暮らす祖母の幸

上小学校の卒業式で、卒業証書を祖母の幸子さん(右)に手渡す昆愛海さん(19日)下覚えたばかりの平仮名で母親に手紙を書き、寝入ってしまった愛海ちゃん(2011年3月22日・当時4歳)＝いずれも岩手県宮古市で、立石紀和撮影

岩手県宮古市に住む愛海ちゃんは、行方不明になった母親に１時間近くかけて手紙を書き、疲れて寝入ってしまいました。その写真が読売新聞に掲載されました。あどけない寝顔を見て、どんな夢を見ているのだろうかと想像しました。自然と涙が込み上げてきました。

保育園に迎えに来た母親と帰宅した愛海ちゃんは、両親、妹と共に３０メートル以上もある津波に流されました。愛海ちゃんは背負っていた通園用のリュックサックが漁網に引っかかって助かりました。両親と妹は行方不明になりました。高台から瓦礫と化した町と入り江を見下ろす愛海ちゃんの寂しそうな後ろ姿がかわいそうでたまりませんでした。引き取られた祖母と笑顔でハイタッチする写真を見て、再び涙が出ました。幼くして背負わされた過酷な運命に、女の子はこれからどのように生きていくのだろう、心から打ち解けて友だちとはしゃぐことができるのだろうか、と思いは尽きませんでした。

ままへ　会いに来たよ

岩手の昆愛海ちゃん

母見つかった海　初めて献花

子どもの存在は、大人を勇気づけます。贈られたランドセルが嬉しくて背負ったままの女の子、避難所のトイレを懸命に掃除する中学生、お年寄りの肩を揉んであげる高校生など、絶望にも希望の光を与えてくれるのは子どもたちでした。

最近、次世代を担う子どもを大切にするどころか、虐待など目や耳を覆いたくなる出来事が頻繁に起こっています。「言うことを聞かないから」「しつけのため」などと言って暴力を振るったり、食事を与えず放置して死に至らしめる事件もあります。許せません。母親の死を知りながら愛海ちゃんの「いきているといいね。」「おげんきですか。」という矛盾した言葉が痛々しく感じられます。

今年もあの日がやってきます。心静かに手を合わせ、亡くなられた方、未だ行方不明の方のご冥福を祈りたいと思います。

そして、いつ、どのような災害が起こるか分からないということを、しっかりと噛みしめて、物心ともに備えをして参りたいと思います。

随時更新しています！真野小学校Webページをご覧下さい！

学校行事や学習活動の様子を随時紹介しています。是非ご覧下さい。

真野小学校　検索

ＵＲＬ：http://www.otsu.ed.jp/mano-e/